

ふりかえりプリント 10月第4週④

答えのらんをうしろにのってから始め、おわったら自分で丸をつけましょう。

名前

A 数と計算

① 計算をしましょう。

$$4 \times 6 = \boxed{} \quad 7 \times 3 = \boxed{}$$

$$9 \times 9 = \boxed{} \quad 3 \times 7 = \boxed{}$$

$$8 \times 6 = \boxed{} \quad 5 \times 8 = \boxed{}$$

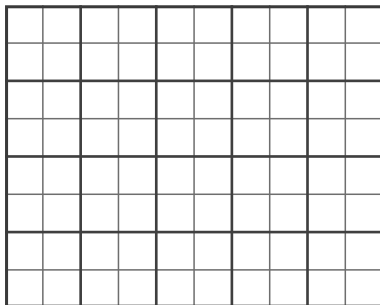
② 計算をしましょう。

$$92 - 57 = \boxed{}$$

$$60 - 34 = \boxed{}$$

③ 筆算でしましょう。

$$547 + 386$$



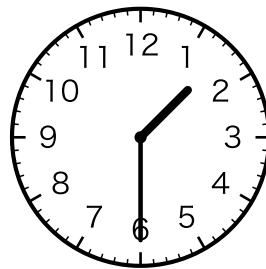
答え

④ 2mの4倍は何mですか。

答え

B かたち・長さ・時間

① とけいを見て、何時何分か答えましょう。



答え

② 1dLは何mLですか。

答え

③ 5cm2mmは何mmですか。

答え

④ 5分は何秒ですか。

答え

C 数とデータ

① じゅうくを、すう字で書きましょう。

答え

② 1000は、10がいくつですか。

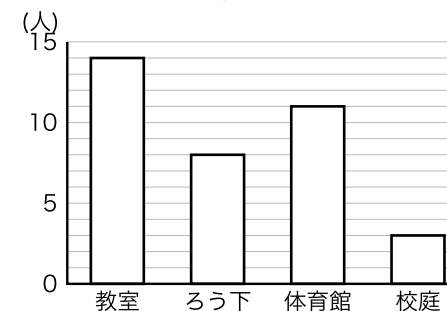
答え

③ 59000と5900では、どちらが大きいですか。

答え

④ そうじ場所しらべのぼうグラフです。いちばん少ないものは何ですか。

そうじ場所しらべ



答え

こたえ (おもて)

A

$$\textcircled{1} 4 \times 6 = 24$$

$$7 \times 3 = 21$$

$$9 \times 9 = 81$$

$$3 \times 7 = 21$$

$$8 \times 6 = 48$$

$$5 \times 8 = 40$$

$$\textcircled{2} 92 - 57 = 35$$

$$60 - 34 = 26$$

$$\textcircled{3} 933$$

$$\textcircled{4} 8m$$

B

$$\textcircled{1} 1\text{時}30\text{分}$$

$$\textcircled{2} 100\text{mL}$$

$$\textcircled{3} 52\text{mm}$$

$$\textcircled{4} 300\text{秒}$$

C

$$\textcircled{1} 19$$

$$\textcircled{2} 100\text{こ}$$

$$\textcircled{3} 59000$$

$$\textcircled{4} \text{校庭}$$

まちがえた問題は
消さずに、赤で書き
なおしましょう。

3年 10月4週 (4) |

A①=2年

B①C①=1年 ②=2年

③④=3年

3-10-4-4 v2



まちがいをみつけたら
教えてください

ヘチマのたわし

名前

音読サイン

夏^{なつ}になると、ヘチマの実^みがなります。
わかいうちはやわらかく、料理^{りょうり}に使^{つか}えます。
す。そのままにしておく^おと実^みはどんどん
大き^{おお}くなり、秋^{あき}にはかさかさにかわいて
しまします。

かわいた実^みをふつてみると、中^{なか}で音^{おと}が
します。わつてみると、あみの目^めのよう
なすじが、びつしりとつまっています。
このすじは、実^みの中^{なか}で水^{みず}を通^{とお}していた細^{ほそ}
い管^{くだ}の集^{あつ}まりです。

たわしを作る^{つく}には、まだみどり色^{いろ}の実^み
を、水^{みず}につけておきます。しばらくする
と、皮^{かわ}とやわらかいところ^{ところ}がとけてく
ずれ、手^てであらうとすじだけ^{のこ}が残^{のこ}ります。
中^{なか}のたねを出^だして、ひなたでかわかせば
できあがりです。

できあがったたわしは、水^{みず}をよくす
い、かわきも早^{はや}く、長^{なが}く使^{つか}えます。ヘチ
マの実^みの中^{なか}には、はじめからたわしの
形^{かたち}があつたのです。かわいて残^{のこ}ったの
は、実^みをささえていたほねぐみでした。

(1) 「びつしりと」の意味に合うものを一つえらび、
記号に○をつけましょう。

ア 少しずつならんでいるようす

イ すきまなくつまっているようす

ウ ゆっくり動くようす

エ 音を立てるようす

(2) たわしになるすじは、もともと何^{なに}をしていた
のですか。一つえらび、記号に○をつけましょう。
ア 実^みをあまくするもの

イ たねを作るもの

ウ 皮^{かわ}をまもるもの

エ 実^みの中^{なか}で水^{みず}を通していた細^{ほそ}い管^{くだ}

(3) 手^てであらうと、何^{なに}だけが残^{のこ}りますか。
文^{ぶん}しようにから二字で書きぬきましょう。

(4) ヘチマのたわしは、どのよう^{よう}にして作^{つく}りますか。
じゅんじよが分かるように書きましょう。

--	--	--	--	--	--

書くときのポイント

「まず」「つぎに」「さいごに」を使^{つか}って、じゅんに書^かく。
文^{ぶん}しような言葉^{ことば}をそのまま使^{つか}ってよい。

こたえ (うら)

問1 イ

問2 エ

問3 すじ

問4 (例) まずみ
どり色^{いろ}の実^みを水^{みず}に
つけ、つぎに手^てで
あらってすじだけ
を残^{のこ}し、さいごに
たねを出^だしてかわ
かす。

〈○のつけ方〉

問1～問3は、答^{こた}えとび
ったり同じなら○。

問4は〈水^{みず}につける〉
と〈かわかす〉の両^{りょう}方^{かた}
が書^かけていれば○。

3-10-4-4 v2

3年 説明文